

トレードセンター前駅(地下鉄南港ポートタウン線) 南港から西日本一高いコスモタワーへ

コスモスクエア駅(地下鉄中央線・南港ポートタウン線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.140



地下鉄トレードセンター前駅

①ATC(アジア太平洋トレードセンター)

昭和8年(1933)、木津川飛行場の移転先として南港の埋め立てが始まりましたが、戦争のため中断。戦後、港湾用地と住宅用地として利用する計画となり、現在の南港・南港ポートタウン・南港ニュータウンが誕生しました。約1億4千万立方メートルの土砂(ダンプカー1日1000台で運んでも約55年かかる)が埋め立てられたといわれています。ATCは平成6年(1994)に貿易トレードセンターとしてオープンしたもので、ショールームやレストラン、輸入品ショップなどがあります。



②大阪南港コスモフェリーターミナル

平成20年(2008)オープンで、「フェリーさんふらわあ」が運航しており、瀬戸内、九州の港に向かう便があります。

③コスモタワー

西日本一の高さ(地上256メートル)を誇ります。平成7年(1995)にオープンとなり、55階の展望台からの360度の眺めは格別です(展望台「plat planet」は有料)。

④咲洲キャナル

海水を取り入れた運河で、コスモスクエア地区内を流れ、東西にゆるやかなカーブを描く親水空間です。水辺の散策が楽しめます。

⑤シーサイドコスモ

海辺の空間として整備されました。海を眺めれば、港区の天保山、此花区のUSJ(ときには花火の音も聞こえます)、此花大橋、舞洲スラッジセンター、舞洲工場、夢舞大橋、遠くは六甲山脈、明石大橋、淡路島なども見えて、沈みゆく夕陽の光景も見ものです。

⑥古代船「なみはや」

古代船「なみはや」は平野長原遺跡高廻り2号噴出土の船形埴輪をモデルとして復元された準構造船です。「倭の五王」時代の

航海を再現しようと、大阪港から韓国釜山港への実験航海にも成功しました。

⑦なにわの海の時空館

平成12年(2000)開館。ユニークな形のガラス張りの建物は大阪港のランドマークで、平成14年(2002)には英国構造技術者協会から「Structural Special Award 2002」を受賞しました。設計はポール・アンドルー氏(フランス人設計家)です。館内には江戸時代に活躍した菱垣廻船(千石積級)を実物大で復元した「浪華丸」があります。



地下鉄トレードセンター前駅

